

☆「一般的に表す」 教科書 P25～

⇒どんな場面でも通用にすること

④ はば 5 cm のテープを何cmかずつつ切り取る。

できる長方形の面積を表す式を書く。

10cm の場合… $5 \times 10 = 50$ 15cm の場合… $5 \times 15 = 75$ 20cm の場合… $5 \times \underline{\quad} = \underline{\quad}$ 25cm の場合… $\underline{\quad} \times \underline{\quad} = \underline{\quad}$ →いつも共通している数は、 $\underline{\quad}$ 。

自分で考えて書くこと

 \square cm の場合…… $5 \times \square$

エックス

大事なことも赤字で囲む。
定規を使用すること。 x cm の場合…… $\underline{\quad} \times \underline{\quad}$ で表す★いろいろと変わる数の代わりに、 x などの文字を使い、
どんな場面でも通用する式にすることができる。

P27③

26cm 式)

答)

 cm^2

27cm 式)

答)

 cm^2

28cm 式)

答)

 cm^2 暗算できない場合は、式と答えの間に筆算する。必ず筆算は残し、消さないこと。
筆算を消すメリットは何もない。残しておけば、見直しの時の道しるべになるし、もし間違えていたときも、どこで間違えたかを確認する材料になる。また、答えを見たりズルをしていないという証拠にもなる。

P27④

式)

答)

P27△ 1

①答)

② 5 この場合

式)

答)

12 この場合

式)

答)

学習感想

(分かったこと、疑問、もっと知りたいこと、考えたこと)

(5/15 ここまで)